

第2回 みどりと森の運動公園体育施設等  
指定管理者申請者評価会議 会議概要

1. 開催日時

平成27年10月21日(水) 午後2時～4時

2. 場 所

西区役所 3階 303会議室

3. 評価会議委員（五十音順，敬称略，全員出席）

氏 名	職名等
岡野 崇彦	NPO法人新潟野球人 顧問
篠田 邦彦	新潟大学教育学部 教授
中山 幸夫	中山公認会計士事務所 公認会計士・税理士
渡辺 穰	新潟市スポーツ推進委員連盟西区協議会 会長

4. 傍 聴 者

7名

5. 議 題

- (1) 資格審査報告について
- (2) 評価会議の流れと採点方法についての説明
- (3) 指定管理者申請者によるプレゼンテーション
  - ・みどりと森体育施設運営グループ
- (4) 指定管理者申請者評価
  - ・質疑応答
  - ・評価基準に基づいての評価

6. 質疑応答など

Q. 研修の内容は。

A. グループに属する各社に入社した社員は新潟テルサで行われる新人ビジネスマナー研修を受講することになっている。他に業務研修として、内部研修（OJT）と体育施設協会の外部研修等がある。

Q. 職員数は。

A. 常勤職員3名，パート2名でやっている。大会・イベントでスタッフが足りない場合，同じグループの体育施設のスタッフを派遣する等して対応している。平日の大会やスタッフの不在等に対応するため，今回の提案では，パート1，2名又は社員1名増員して計画をしている。

- Q. 事業計画の中の講師謝金とは。
- A. 自主事業会計に出てくる人件費で、ノルディックウォーキング等の自主事業の講師謝金として計画しているもので、指定管理業務会計とは別のものである。
- Q. 休暇はとれるのか。
- A. 労働関係法令を遵守している。また、スタッフの中から苦情は出ていない。
- Q. 緊急時の対応は。
- A. 有事の際は出勤している社員が誰でも指揮できるような体制で、パターン別に少なくとも年2回避難訓練を行っている。みどり森は施設数が多く、施設管理者が全ての利用者に対応できるとは限らないことから、利用者との打ち合わせ時に避難誘導の資料を渡し、協力をお願いをしている。
- Q. 好評な自主事業は。
- A. 公園併設という特徴を生かしたノルディックウォーキングは毎回新規で10～20名の参加があるので好評を得ていると思う。また、子育て支援センター、小学校や保育園との連携事業も好評である。
- Q. 利用者の推移が横ばいのようなのだが。
- A. 屋外施設は天候や大会の内容に影響されるので、利用者数を毎年増やすことは難しい。特に、野球場施設は試合前後にグラウンド整備をしなければならない。そのため、大会予備日等に空きが出ないように、大会主催者や利用者と連絡を密にして、少しでも利用者増に貢献していきたい。
- Q. 野球場のスタンドに屋根を付けてほしいという工事の要望はないか。
- A. オープン当初からある。指定管理者として、テントを貸すなどして対応したい。
- Q. 過年度予算との比較で、人件費、物件費の増額の内容は。
- A. 人件費はパート1, 2名又は正社員1名の増員分である。物件費は黒埼地区野球場が追加で指定管理となったこともあるが、必要経費の不足分である。
- Q. アルビレックスとの事業は、市民の目から見た時、利益誘導していると思われるのではないか。
- A. みどり森の知名度を上げたいということでアルビレックスと協力して行ってきた。市民目線に立ち、誤解のないように行っていきたい。

**\* 上記の質疑応答後に各委員から指定管理者申請者に対し、評価を実施していただいた。その結果、各委員からすべての項目において、基準以上の評価をいただいた。**